科目名	科学的研究方法論Ⅰ（実験研究）			選択必修	選択
担当教員	根本 昌宏、村林 宏、姫野 稔子				
科目区分	共通科目	単位数	1 単位	オフィスアワー	根本：17:00-18:00(水) 村林：17:00-18:00(月) 姫野：16:00-18:00(月)
開講時期	1・2年次　前期	時間数	15 時間		

■ **授業の目的**

設定した研究テーマに対して科学的根拠を明らかにするために有効な実験デザインと準実験デザインによる研究計画と各種測定手法を理解し、実践することができる。

■ **授業の概要**

実験研究に不可欠となる動物およびヒトの生体で起こる現象を科学的に立証するための研究方法、生体反応など様々なバイオマーカーを利用した実験研究及び準実験研究の方法について教授する。

回	授業内容及び方法	担当
1	1. 実験研究を行うにあたって　2. 実験研究と倫理　3. 実験動物とその取扱い 4. 非臨床試験の概要とGLP	根本
2	1. 薬の効果と有害作用の評価　2. 実験動物代替法　3. バイオマーカーと疾患	根本
3	1. 酵素免疫測定法の基礎　2. 酵素免疫測定法を用いたストレス評価 3. 生体反応・環境因子の評価手法	根本
4	1. 実験動物試料の扱い方　2. 組織試料作成方法　3. 組織染色の基礎 4. 抗原抗体反応の基礎	村林
5	1. 免疫組織化学法の手技　2. 実験結果の判定　3. 免疫組織化学法の応用 4. 画像作成時の注意	村林
6	1. フィールドワークの基礎　2. 野生生物調査方法　3. 統計技法について	村林
7	1. 準実験研究デザインとは　2. 準実験研究の内容妥当性の考え方 3. 内容妥当性を高める方法	姫野
8	1. ヒトを対象とした準実験研究の具体的なプロセス-計画立案から分析まで-	姫野

■ **準備学習**

次回の授業範囲について、事前に学習し専門用語の意味などを理解しておくこと。講義後にレポート課題に取り組むこと。

■ **教材・テキスト**

指定しない。

■ **参考書**

必要に応じて提示する。

■ **成績評価の方法及び採点基準**

講義終了時に、各講師が課題を提示するので期限までに提出すること。
各教員の担当時間数に応じて配点し、合計100点である。

■ **教員からのメッセージ**

客観的評価法として重要な実験研究の内容ならびに技術を理解して、自らが計画、実行、評価、改善できるように学んで下さい。
人間を対象とした研究成果によって看護学を発展させていきましょう。（姫野）